



TITLE:

当所の活動

AUTHOR(S):

---

CITATION:

当所の活動. 木材研究・資料 1983, 17: 309-313

ISSUE DATE:

1983-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/51578>

RIGHT:

## 当 所 の 活 動

(1981年8月～1982年7月)

### 講 演

#### 第32回 日本木材学会大会

(昭和57年4月1日～3日, 福岡)

黒田慶子・島地 謙・林 昭三：針葉樹木部細胞分化に及ぼす傷害の影響

牧野良平・黒田宏之・島地 謙：スギ形成層の器官培養——形成層のカルス化と加圧の影響

山口和穂・黒田宏之・島地 謙：広葉樹の木部形成に対するオーキシン輸送阻害剤の影響

三木直久・島地 謙：針葉樹シュートにおける維管束の発生過程

今村祐嗣・和田 博・林 昭三・則元 京：曲げ木の組織構造

則元 京：楽器用材の物性 I. ピアノ響板材の選別

青木 務・則元 京：マイクロ波による木材の曲げ加工——曲げ加工材（繊維方向）の水分回復

飯田生穂・則元 京：マイクロ波による木材の曲げ加工——横方向曲げ処理材の水分および熱回復

則元 京・田中文男・大釜敏正・小野晃明：マイクロ波による曲げ加工——針葉樹材細胞壁構造と曲げ性能

牧 福美・則元 京・山田 正：木質材料の湿度調節機能 VIII. 気積依存性について

滝野真二郎・佐々木光・壺貫田悦雄：継続荷重と繰返し荷重を同時に受ける構造用パーティクルボードのたわみ挙動と強度低下

佐々木光・川井秀一・Narong PENGPRECHA：静電場を用いた配向ボードの製造 III. 表層に向かって連続的に配向度を高めたパーティクルボードの製造と性質

川井秀一・佐々木光・名嘉真祐司：静電場を用いた配向ボードの製造 IV. 表層に向かって連続的に配向度を高めたファイバーボードの製造と性質

白石信夫・村上幸子・横田徳郎・則元 京・青木 務・藤岡 修・伊藤謙喜：低級脂肪酸アシル化

木材パルプを用いる曲面成形性繊維板の調製と生成物の物性

高谷政広・浜田良三・佐々木光：へき開型木材接着試験体の疲労強度——エポキシ樹脂接着剤の場合

南 正院・石原茂久・佐々木光・江見佳朗：亜硫酸パルプ廃液（SSL）の接着性能 II. 分子量分画した SSL の化学組成と接着力

稲葉和功・飯塚義富・越島哲夫：亜硫酸パルプ排液成分添加培地に生育した食用きのこの菌体成分

黒田宏之・島地 謙：顕微鏡的手法によるスギの黒心と赤心の比較

佐藤 惺・東 順一：黒染用ログウッド原木に関する基礎研究

島田幹夫・樋口隆昌・片山健至：リグニン生分解とベラトリルアルコール代謝に及ぼすチトクローム P-450 阻害剤の効果

島田幹夫・榎 章郎・M. H. GOLD・K. KRISNANGKURA：*Phanerochaete chrysosporium* の二次代謝とリグニンの生分解

榎 章郎・M. H. GOLD：リグニンモデル化合物の代謝の際に *Phanerochaete chrysosporium* が行う種々の反応について

梅沢俊明・樋口隆昌・中坪文明：*Phanerochaete chrysosporium* による 5-carboxyvanillic acid の分解

片山健至・樋口隆昌・中坪文明：*Fusarium solani* によるフェニルクラマン型ジリグノールの分解（第2報）

岩田隆太郎・西本孝一：ヒラタキクイムシの防虫試験に関する研究（第1報）. 供試虫としての成虫の発育状態について

東 順一・西本孝一・越島哲夫：イエシロアリの糖分解酵素に関する研究（第2報）. 職蟻のセルラーゼの性質について

金井和光・西本孝一：イエシロアリ（*Coptotermes formosanus* SHIRAKI）の栄養生理に関する研究

(第2報). 中型・小型原生動物の働きについて

西本孝一・足立昭男：有機リン系化合物の殺シロアリ性能について

米田 護・谷口幸男・西本孝一・布施五郎：発泡施工による建築物の防蟻処理について

高橋旨象・松本宣哲・守時哲也・足立昭男・角田邦夫・西本孝一：CCA系薬剤の防腐・防蟻効力  
矢田茂樹・棕代純輔・梶田 熙・西本孝一：木材中のCrの微細分布のSEM/EDXAによる検出について

小西清司・相場 武・森沢靖弘・西本孝一：木材防腐剤としてのトリハロアシル化合物に関する研究 (第3報). 接着剤混入処理合板の防腐効力について

西本孝一・足立昭男：ペースト状木材防腐剤の性能について

角田邦夫・西本孝一：木材防腐剤としてのアルキルアンモニウム化合物に関する研究

角田邦夫・西本孝一：新規防かび剤の性能について  
石原茂久：パーティクルボードの耐火性能

高橋信義・東 順一・越島哲夫：ヘミセルロース・リグニン結合体に関する研究 (その6). ヘミセルラーゼ処理したブナMWL画分中のLCCの性質

加藤 厚・東 順一・越島哲夫：ヘミセルロース・リグニン結合体に関する研究 (その7). バガスMWL画分よりのヘミセルロース・リグニン結合体の性質

前川英一・越島哲夫：亜塩素酸塩法による木材ホルムセルロース定量法の改良について

東 順一・越島哲夫：木材糖化の前処理としての膨軟化の効果について

村木永之介・夜久富美子・越島哲夫：微粉碎木粉の酵素分解 (4). ラワン材について

夜久富美子・田中竜太郎・村木永之介・足立公洋・越島哲夫：酵素分解残渣木粉中の糖について

田中文男・越島哲夫：赤松材中のセルロースの三次元配向

師岡淳郎・則元 京・山田 正：セルロースアセテートの物性——側鎖の緩和時間について

白石信夫・村上幸子・青木 務・則元 京・奥村昌

和：グラフト共重合およびアシル化によるセルロースと木材のプラスチック化

則元 京・青木 務：プラスチック化木材の物性Ⅰ.  
ベンジルエーテル化処理材の粘弾性

青木 務・則元 京：プラスチック化木材の物性Ⅱ.  
表面プラスチック化

### 第37回 木研公開講演会

(昭和57年5月14日, 大阪)

島田幹夫：夢か現つか——リグニンを食うきのこ  
Xenobiotic (薬物) 代謝とその応用

角谷和男：樹木形成とバイオテクノロジーの接点

西本孝一：防腐・防虫合板の研究開発の動向

### 特別講義 (非常勤講師)

上村 武：住宅と木材 (昭和57年1月22日)

蓑田泰治：芳香族化合物の微生物分解

(昭和57年2月4日)

### 第17回 IUFRO 世界大会

(昭和56年9月7日～11日, 京都)

T. ITOH, K. SHIMAJI: Lignification of Bamboo culm (*Phyllostachys pubescens*) during Growth and Maturation

H. KURODA, K. SHIMAJI: Distribution of Coloring Substances in Sugi Heartwood

K. YAMAGUCHI, T. ITHO and K. SHIMAJI: Compression Wood Formation by IAA Transport Inhibitors

T. NOMURA: Utilization of Bamboo for Industry and Handicrafts in Japan

H. SASAKI: Recant Development with Laminated Wood Products in Japan

S. ISHIHARA: Fire Retardance of Particleboards——Fire Retardant Particleboards by Boric Acid and Alkali Metal Compounds——

M. TAKAHASHI: Bending Creep Test of Wood and Wood-Based Materials under Fungal Attack for the Evaluation of Their Durability

### 第27回 熱帯林業セミナー

(昭和56年10月8日, 大阪)

“南洋材の見分け方”

島地 謙：南洋材の組織の機能と形態—南洋材識別上の理解を助けるために—

昭和56年度 埋蔵文化財発掘技術者専門研修

(遺物保存科学課程) 特別講義

(昭和56年12月15日, 奈良)

島地 謙: 木材組織の観察

第9回 国際セルロース会議

(昭和57年5月24日~27日, シラキュース)

T. ITOH and R. M. BROWN, Jr.: Linear Cellulose Synthesizing Complexes in Valonia

植物生化学の未開分野と将来の予想についての国際シンポジウム

(昭和56年9月1日~3日, 名古屋)

T. HIGUCHI: Biosynthesis and Biodegradation of Lignin.

第26回 リグニン化学討論会

(昭和56年10月29日~30日, 筑波)

東 順一, 向吉俊一郎, 越島哲夫: ヘミセルロース・リグニン結合体(LCC)に関する研究(その5)―アカマツ圧縮アテ材より Björkman LCC の性質―

前川英一, 越島哲夫: 亜塩素酸塩性及び過酢酸性によるホロセルロースの調製過程で溶出する多糖成分について

片山健至, 中坪文明, 樋口隆昌: *Fusarium solani* によるグリセロール-2-パニリン酸エーテルおよびフェニルクラマン型二量体の分解

梅澤俊明, 中坪文明, 樋口隆昌: *Phanerochaete ohrysoportiun* によるフェノール性水酸基をもつフェニルクラマン型二量体の分解

島田幹夫, 樋口隆昌, M. H. GOLD: 担子菌の変異株を用いたベラトリルアルコール代謝とリグニンの「生合成」的生分解に関する研究

棚橋光彦, 樋口隆昌: キノンメチド中間体を経る LCC モデルの形成に関する研究

環境科学特別研究“資源循環: 植物廃棄物の有効利用に関する研究(R-33-8)”研究会

(昭和57年1月14日, 京都)

島田幹夫: リグニン微生物分解研究の現状と問題点  
昭和56年度 エネルギー特別研究“生物エネルギーの利用と開発”成果発表会

(昭和57年2月5日~6日, 大阪)

越島哲夫・東 順一: シロアリ原生動物及びセルラ

ーゼ系酵素による木材の加水分解

樋口隆昌: リグニンの微生物分解とその応用

第4回 “バイオマス・バイオエネルギー研究会”, 第21回フォーラム

(昭和57年5月31日, 東京)

東 順一: 酵素系による木材多糖の加水分解

昭和57年度 繊維学会年次大会

(昭和57年6月1日~3日, 東京)

前川英一・越島哲夫・幸崎敏之: 2, 3-ジカルボキシセルロースのヒドロキサム酸誘導体への調製と金属錯体の生成について

第5回 糖質シンポジウム

(昭和57年7月22日~24日, 名古屋)

東 順一, 田中龍太郎, 越島哲夫: リグニン・ヘミセルロース結合体の  $^{13}\text{C}$ -NMR スペクトル

日本木材学会レオロジー研究会

(昭和56年10月7日, 名古屋)

師岡淳郎: セルロース誘導体の物性

日本木材学会木材の化学加工研究会

(昭和56年10月15日, 福岡)

青木 務: プラスチック化木材の物性

Sri Jayawarderepura 大学における特別講演

(昭和57年1月25日, スリランカ)

T. NOMURA: Forestry and its Development in Sri Lanka and Japan

端材の有効利用のための木製玩具展

(昭和56年12月19日~25日, 大阪)

野村隆哉ほか4名: オータンとその仲間達展

(昭和57年3月20日~4月4日, 倉敷)

野村隆哉: 木の遊具とオブジェ展

(昭和57年5月13日~6月8日, 大阪)

野村隆哉: オータンと木の動物達展―木の素材感の表現

岡山県木材加工技術研究会

(昭和56年9月28日, 岡山)

佐々木光: 最近の木材加工技術

日本木材加工技術協会北海道支部・北海道林産技術普及協会講演会

(昭和56年11月4日, 旭川)

佐々木光: 最近開発された木質構造材料の将来性

## 大阪府木材連合会創立20周年記念講演会

(昭和57年2月16日, 大阪)

佐々木光: 最近の木材利用技術について

## 第2回 林業問題懇話会

(昭和57年3月26日, 大阪)

佐々木光: 木材加工・利用の今後のあり方

## 全国木材組合連合会講演会

(昭和57年1月19日, 那覇)

西本孝一: 木材の防虫・防蟻処理について

## 日本住宅・技術センター講演会

(昭和57年3月24日, 鹿児島)

西本孝一: 木材保存処理について

## しろあり防除施工士資格検定試験講習会

(昭和57年3月13日, 東京)

角田邦夫: シロアリ防除剤に関する知識

日本木材学会きのこ研究会, 生物劣化研究会, 日本木材加工技術協会木材保存部会, 木材保存協会共催講演会

(昭和57年4月3日, 福岡)

高橋旨象: 腐朽菌の樹種選択性

## 人事往来・その他

中坪 文明: 昭和56年10月1日付で農学部助教授に昇任 (リグニン化学部門)

今村祐嗣: 昭和57年2月1日付で助手に採用 (木材防腐防虫実験施設)

榎 章郎: 昭和57年4月1日付で近畿大学農学部講師に転出 (木材化学部門)

梅澤俊明: 昭和57年4月1日付で助手に採用 (リグニン化学部門)

青木 努: 昭和57年7月1日付で神戸大学教育学部講師に昇任 (木材物理部門)

樋口隆昌: 文部省国際研究集会派遣研究員として「パルプ紙工業における生化学工学セミナーに出席並びに爆砕法リグニンの調査研究」のため昭和56年9月12日～22日までカナダ国へ出張

野村隆哉: 京都大学創立70周年記念後援会助成金の海外派遣員として「竹の蓄積及びその有効利用に関する調査研究」のため昭和56年10月31日～

57年1月30日までスリランカ国及び台湾へ出張  
伊東隆夫: 文部省在外研究員として「細胞壁の構築

に関する研究及び資料収集」のため昭和56年11月1日～58年8月31日までアメリカ合衆国へ出張

佐藤 惺: メキシコに「ログウッド原木調査」のため昭和56年12月6日～25日まで旅行

西本孝一・角田邦夫: 日本学術振興会の国際共同研究として「低毒性木材防腐薬剤の開発に関する研究」のため昭和57年2月8日～21日までオーストラリア国及びニュージーランド国へ出張

越島哲夫: 「第9回セルロース会議出席」のため, 昭和57年5月22日～29日までアメリカ合衆国へ出張

Walter G. KAUMAN: (パリ木材技術センター研究部長) 昭和56年9月4日, 5日両日見学と討議のため来所

Robert H. LEICESTER: (オーストラリア CSIRO 建築研究部門主任研究員) 昭和56年9月11日見学のため来所

Narong PENGPRECHA: (タイ国王立林業省林産研究部門林務技官) 昭和56年10月1日～昭和56年11月14日まで招へい外国人学者として滞在

Lothar GÖTTSCHE: (西独ダルムシュタット工科大学教授) 昭和56年10月13日見学のため来所

Krisna CHUTIMA: (タイ国カセサート大学副学長) 昭和56年10月30日見学のため来所

中国木材総合利用科研及び開発視察団: 団長李 万新 (中国林業科学研究院副院長) 他3名 昭和56年11月7日来所

Hubert POLGE: (フランス国林業試験場木材部長) 他1名 昭和56年11月10日「我国の林産研究の現状と木材加工業近代化」についての視察のため来所

中国教育部代表团 団長 李 滔氏 (中国教育部外事局長) 他3名 昭和56年11月12日見学のため来所

K. E. WOLTER: (アメリカ, マジソン林産試験場) 昭和56年12月8日樹木の組織培養ならびに刺針法等の討議のため来所

Hou-nin CHANG: (ノースカロライナ州立大学木材・紙科学科教授) 昭和56年12月7日リグニン微生物分解, 日米共同研究討議のため来所

A. FICHTER: (スイス国立工科大学教授) 昭和57年  
3月2日リグニン微生物分解, バイオマス変換  
等の懇談のため来所

Karl LYTH: (スウェーデン王立林産研究所助教授)  
他2名 昭和57年3月30日見学のため来所

H. SAHM: (ユーリヒ核研究所, 生物工学研究所)  
昭和57年4月13日リグニン微生物分解・バイオ  
マス変換研究の討議のため来所

Hou-nin CHANG, C. L. CHAN: (ノースカロライ  
ナ州立大学 木材・紙科学科) 昭和57年5月31  
日～昭和57年6月2日リグニン微生物分解・日  
米共同研究討議のため来所

P. BRODA: (マンチェスター大学生化学科教授) 昭  
和57年6月4日見学のため来所

M. S. SALONEN: (ヘルシンキ大学微生物学科) 昭和  
57年6月4日リグニン微生物分解についての討  
議のため来所

金 甲成: (韓国林業試験場長) 他1名 昭和57年  
7月20日「ピン打ち法による傷害柔細胞形成と  
病原菌侵入への応用に関する研究」及び見学の  
ため来所

W. BARZ: (ウェストファーレン・ウィルヘルム大  
学植物生化学教授) 昭和57年7月21日見学およ  
び懇談のため来所